

広報あびこ

市 民 憲 章

1月

平成26年
(2014年)

1日



- 水と緑と土のおいがいっぱいの 住みよあびこにします
- 心と体をきたえ 生き生きと働き 伸びゆくあびこにします
- 老人を大切にし 子どもの夢を育て 幸せなあびこにします
- ふるさとを愛し 文化を高め 豊かなあびこにします
- みんなで話しあい きまりを守り 明るなあびこにします

昭和56(1981)年1月15日制定

市ホームページアドレス <http://www.city.abiko.chiba.jp/> 携帯サイト <http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>

編集・発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-0127 No.1348 (毎月1日・16日発行)

迎春



「日の出と白鳥」

撮影 田淵博之さん(市内在住)



議長 茅野 理

新年あけましておめでとようございませう。地方が主体の時代を迎え、自立したまちづくりを進めていくために、市民生活に直結した市議会の役割と責務はますます増大しております。二元代表制の一翼を担う議会として、市長をはじめとする執行機関と健全な緊張関係を保ちながら、議員間の討議を十分重ね、最善となる意思決定をしていきたいと思っております。

これまでも市民に開かれた身近な議会を目指して、議会改革に取り組んでまいりました。現在、議会の最高規範となる「我孫子市議会基本条例」の制定にむけ、議会改革特別委員会において議論を重ねております。今後とも議会の機能を十分に発揮して、政策立案、提言を行い、信頼される議会運営に努めてまいります。

放射能問題については、放射能対策特別委員会において、集中的に議論を重ねております。特に手賀沼終末処理場における一時保管されている指定廃棄物については、流域の市議会と協働し、安全対策の強化を千葉県に要請いたしました。

私たちの住む我孫子市は、豊かな歴史文化や自然環境に恵まれた魅力あるまちです。それら我孫子市固有の魅力を生かし、若い世代、子育て世代の定住化を促進し、また、どの世代においても安心して暮らせる我孫子市の実現のため、議員一丸となって全力で努力してまいります。



市長 星野 順一郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。東日本大震災から3回目の新年を迎えました。この間、震災からの復旧・復興や放射能対策に全力で取り組んできました。本年も引き続き、安全で安心な暮らしの確保を最優先に、水害対策や公共施設の耐震化など災害に強いまちづくりを進めてまいります。

震災からの復旧・復興では、布佐東部地区で被災者のための市営住宅を完成させ、今春から入居を予定しています。さらに、水防倉庫や一時避難所の機能を持つ防災

センターを整備します。放射能対策では、子どもたちの生活空間を中心に放射線量を測定し、基準値以上の箇所に対応していきます。

水害対策では、布佐ポンプ場の築造、若松地区の樋管とポンプ場の整備、久寺家地区と天王台地区の雨水管整備などを進めます。

耐震化では、並木小、根戸小、我孫子第二小、新木小、久寺家中で工事を行い、小・中学校体育館の耐震化を完了させます。

若い世代に魅力ある子育てしやすいまちづくりを進めることは、まちのにぎわいや税収を確保するためにも重要であり、保育園待機児童ゼロの堅持、あびこ子クラブの増設、小中一貫教育の導入に向けた取り組みなどを進めます。

本年も我孫子らしさを生かし、市民の皆様が住み続けたいと思える、魅力と活力あるまちづくりを推進してまいります。